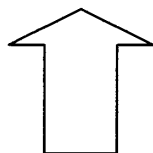
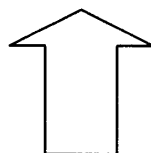


<我が国経済の基調判断>

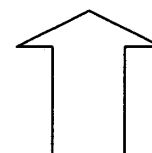
景気は、依然厳しい状況にあるが、底入れしている。



設備投資は、減少している。失業率が高水準で推移するなど、雇用情勢は依然として厳しい。



個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。



輸出はアジア向けを中心に増加しており、生産は一部に持ち直しの動きもみられる。企業収益は、下げ止まりの兆しがみられる。

先行きについては、輸出の増加や在庫調整が概ね終了していることの影響が、今後経済全体に波及していくなかで、景気は持ち直しに向かうことが期待される一方、依然厳しい雇用・所得環境などが、今後の最終需要を下押しする懸念がある。